

1. 公共交通改善実施計画に基づく運行評価指標の達成状況

1.1 一日当たりの利用者数

- 一日あたりの利用者数は、令和5年度（2023年度）のうち、4月から8月までの5ヵ月間の平均で、613.2人/日（平日：683.6人/日、土休日：471.9人/日）です。
- 改善基準値となる310人/日を上回る結果となっています。

表 運行評価指標「一日当たりの利用者数」の運行目標値・改善基準値・見直し基準

運行評価指標	運行目標値	改善基準値	見直し基準値
（利用状況） 一日当たりの利用者数	バス運行補助事業の補助金額（2018年度（平成30年度）実績）相当の収入金額となる『1,000人/日』とする	需要予測結果による『310人/日』とする	既存路線（バス運行補助事業路線）との重複区間内停留所の乗降者数（2014年度（平成26年度）乗降調査結果）となる『150人/日』とする

表 運行評価指標「一日当たりの利用者数」における評価指標の達成状況

（単位：人/日）

	全日	【参考】 平日	【参考】 休日	備考
令和3年度（2021年度）	380.8	448.1	247.2	
令和4年度（2022年度）	499.4	560.0	377.5	
令和5年度（2023年度）	613.2	683.6	471.9	令和5年（2023年）4月から8月までの実績

※ICカード利用実績、実数は約1.3～1.4倍程度と想定される。

年度別輸送実績（事業者報告）

	総数	日平均	備考
令和3年度（2021年度）	182,437人/年	500人/日	
令和4年度（2022年度）	230,639人/年	632人/日	
令和5年度（2023年度）	-	-	※年度末までの輸送実績をもって年度の輸送人員の総数が確定するため、未確定の状態

1.2 市支出金額

- 市支出金額は、令和4年度（2022年度）で、約4,648万円/年です。令和5年度（2023年度）の市支出金額は、年度末までの輸送実績をもって事業費が確定するため、未確定の状態です。
- 令和4年度（2022年度）は、改善基準値となる7,500万円/年を下回る結果となっています。

表 運行評価指標「市支出金額」の運行目標値・改善基準値・見直し基準

運行評価指標	運行目標値	改善基準値	見直し基準値
（運行経費） 市支出金額	バス運行補助事業の補助金額 2018年度（平成30年度）となる『3,200万円/年』とする	収支予測結果を踏まえ、『7,500万円/年』とする	一日あたりの利用者数を150人/日とした場合における収支予測結果となる『8,400万円/年』とする。

表 運行評価指標「市支出金額」における評価指標の達成状況

	市支出額	備考
令和3年度（2021年度）	5,663万円/年	令和3年度（2021年度）の支出額
令和4年度（2022年度）	4,648万円/年	令和4年度（2022年度）の支出額
令和5年度（2023年度）	-	※年度末までの輸送実績をもって事業費が確定するため、未確定の状態

2. 豊中東西線利用状況

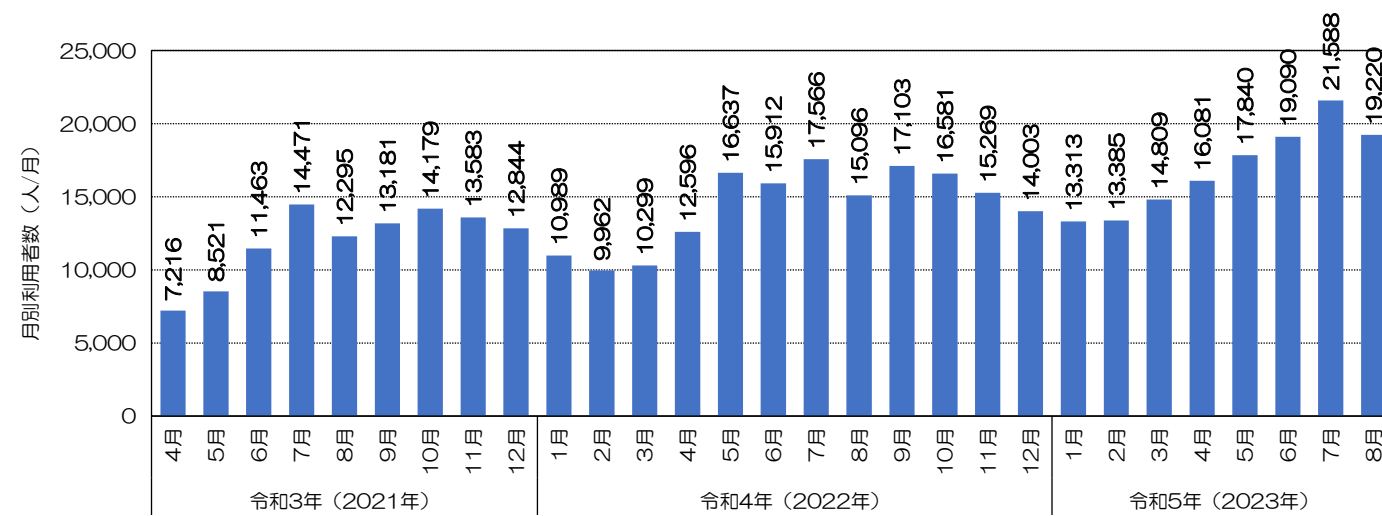
2.1 概要

- ▶ 令和3年（2021年）4月から運行開始した豊中東西線の利用状況を把握するために、交通系ICカードによる利用実績（※阪急バスよりデータ提供）をもとに、利用状況をとりまとめました。

2.2 利用者数（令和3年（2021年）4月～令和5年（2023年）8月まで）

(1) 月別利用者数

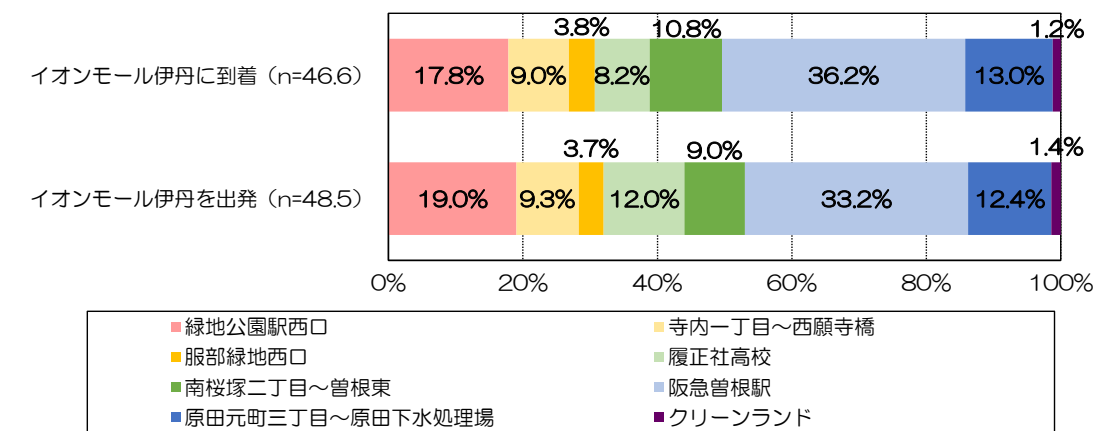
- ▶ 運行開始した令和3年（2021年）4月は7,216人/月でしたが、令和4年（2022年）4月及び令和5年（2023年）4月のダイヤ改正以降、増加傾向にあり、令和5年（2023年）7月は21,588人/月と約3.0倍に増加しています。
- ▶ 令和5年（2023年）8月は19,220人/月です。



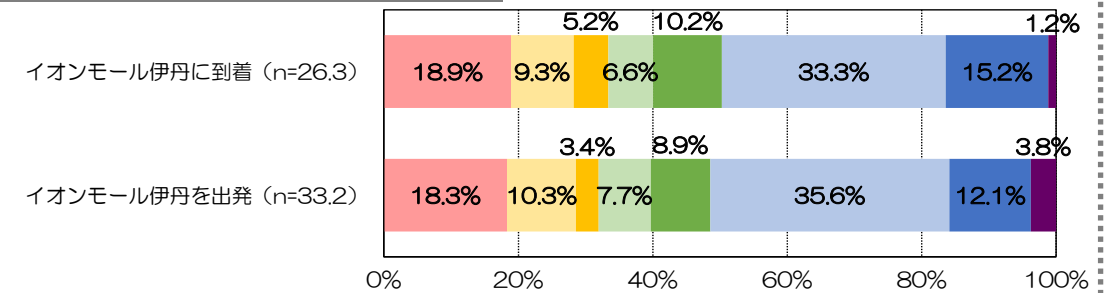
2.3 土休日におけるイオンモール伊丹を起終点とした利用状況

（令和5年（2023年）4月から8月の1日平均）

- ▶ 令和5年（2023年）4月のダイヤ改正により、休日において増便となったイオンモール伊丹を起終点とする利用状況の内訳を見ると、イオンモール伊丹に到着（終点）した利用は、「阪急曽根駅」が約36%と最も多く、次いで「緑地公園駅西口」が約18%、「原田元町三丁目～原田下水処理場」が約13%、「南桜塚二丁目～曽根東」が約11%の順です。
- ▶ イオンモール伊丹を出発（起点）した利用は、「阪急曽根駅」が約33%と最も多く、次いで「緑地公園駅西口」が約19%、「原田元町三丁目～原田下水処理場」が約12%、「履正社高校」が約12%の順です。



【参考】令和4年（2022年）4月から8月



※整理券清算等を除いて集計しているため、1日平均乗車数と1日平均乗車数が一致しない。

【豊中東西線の路線図】

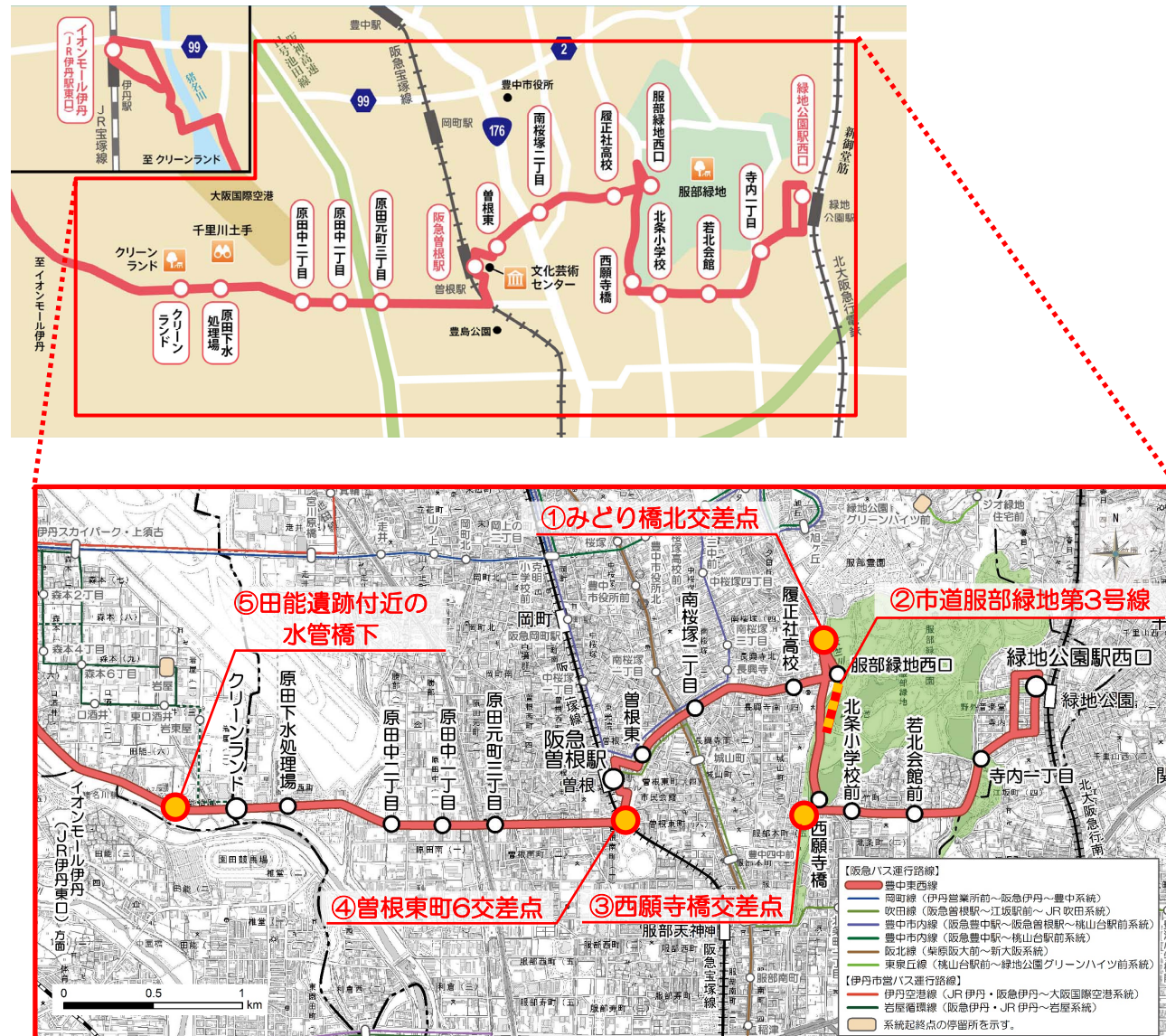


3. 大型バスによる運行に向けた検討

- 東西軸路線バス（豊中東西線）は、令和3年（2021年）3月まで運行していた市立豊中病院線中型バス（乗車定員約60名）4台を活用して、運行しています。
- 履正社高校・中学校生徒の登校等の短時間に対応した輸送力の増強を図るために、更なる増便は、新たな車両の購入が必要となることから、大型バスによる運行に向けた検討を進めています。

3.1 対策が必要な箇所

- 大型バスによる運行にあたり、運行事業者（阪急バス）による大型バス車両の試走実験を実施した結果、以下の箇所における対応策の検討を進めています。

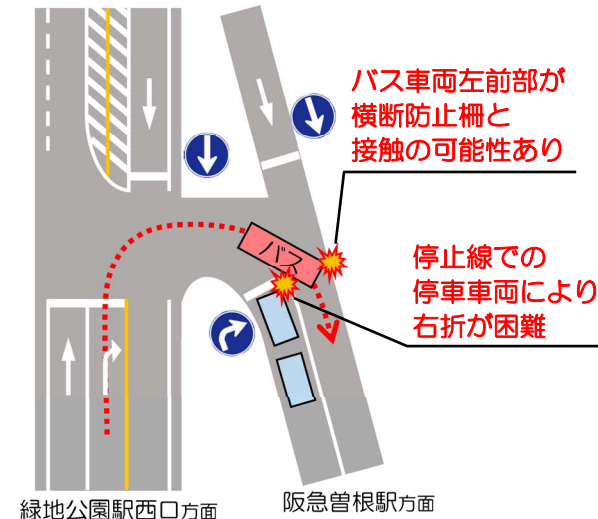


3.2 各箇所における問題点と対策案

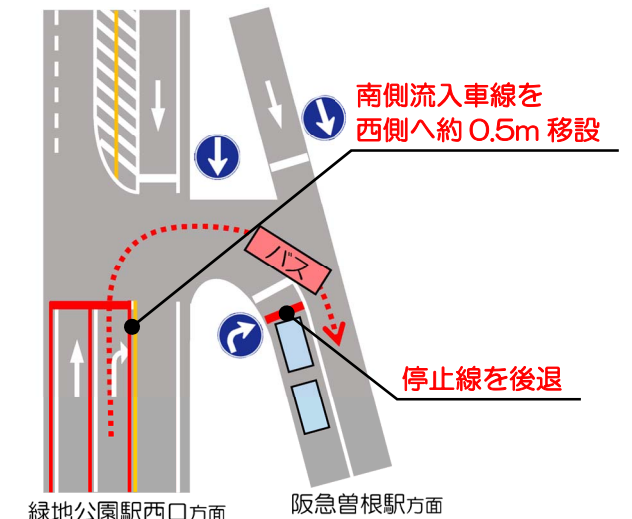
対策が必要な箇所	問題点	対策案
① みどり橋北交差点	右折進行側道路の停止線での停車車両により右折が困難	南東側流入車線の停止線を後退
	右折時に南東側流出部において、バス車両左前部が横断防止柵と接触の可能性あり	神崎刀根山線の南側流入車線を西側へ約0.5m移設
② 市道服部緑地第3号線	車道幅員が狭くセンターラインをはみ出して通行	車道東側（緑地側）を擁壁整備等により拡幅 緑地内の樹木の剪定
③ 西願寺橋交差点	左折進行側道路の停止線での停車車両により左折が困難	東側流入車線の停止線を後退
④ 曾根東町6交差点	左折進行側道路の停止線での停車車両により左折が困難	北側流入車線の停止線を後退
⑤ 田能遺跡付近の水管橋下	水管橋下での離合通行が困難	運行ルートの見直しを検討

【①みどり橋北交差点】

<現況>



<対策案>

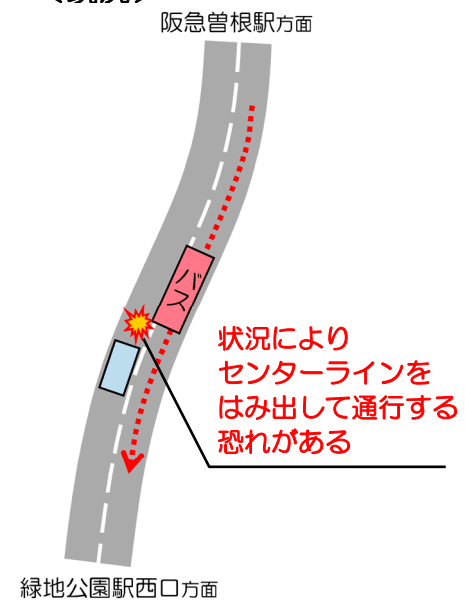


<大型バス車両による試走実験時の様子>

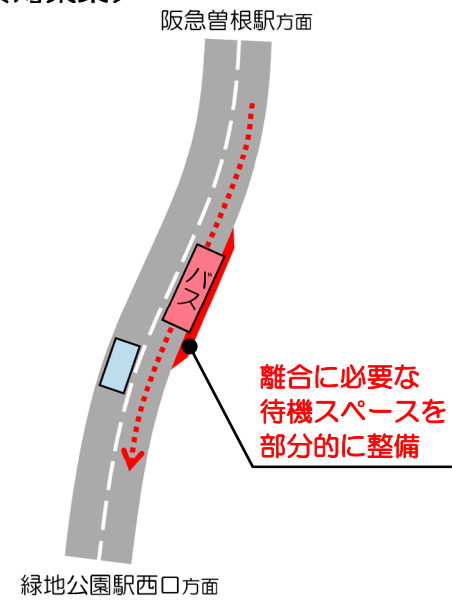


【②市道服部緑地第3号線】

<現況>



<対策案>

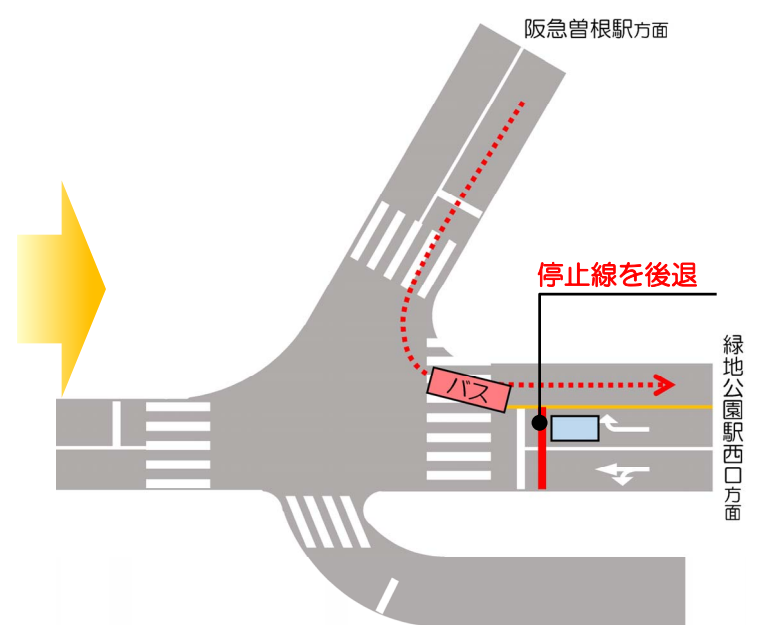


【③西願寺橋交差点】

<現況>



<対策案>



<大型バス車両による試走実験時の様子>



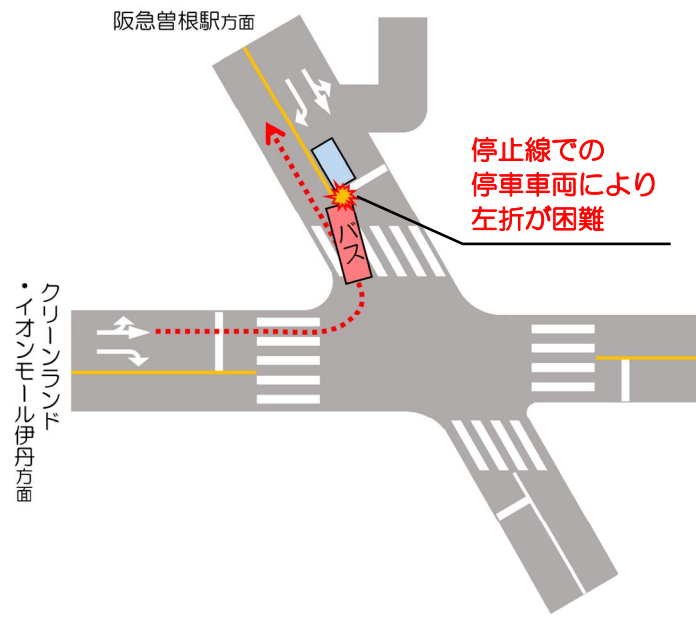
<現地の状況>



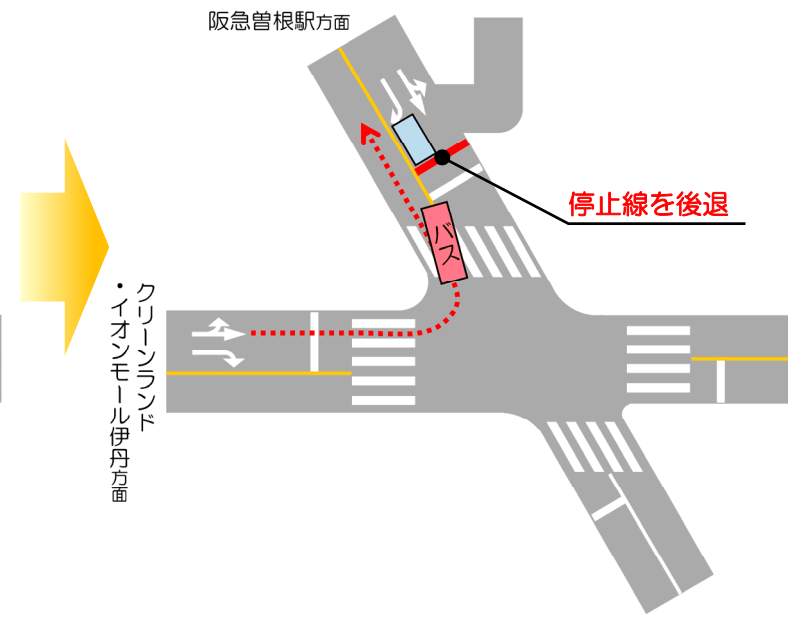
※写真のバス車両は通常運行時の中型バスである。

【④曾根東町6 交差点】

<現況>



<対策案>



<大型バス車両による試走実験時の様子>



【⑥田能遺跡付近の水管橋下】

<現況>



※写真のバス車両は通常運行時の中型バスである。

<対策案>

- 大型バスの運行に向けて、ルート変更の検討を進める。